（JPR報道資料）

2018年10月31日

JPR 日本パレットレンタル株式会社

【JPR】物流ビッグデータ活用のためデータサイエンティストを育成

日本パレットレンタル株式会社（代表取締役社長：加納尚美、本社：東京都千代田区、以下JPR）は、年間出荷枚数4200万枚にものぼるレンタルパレットの移動データ等、物流ビッグデータを分析・活用するために、社内にてデータサイエンティストの育成体制を整えました。これにより物流のさらなる効率化に向けた展開を推進してまいります。

記

1. 明治大学 総合数理学部 乾教授協力によるデータサイエンティスト育成について

学校法人明治大学 総合数理学部現象数理学科 専任教授の乾孝治博士（理学）を講師にお招きし、座学およびワーキングを通してデータサイエンスを学ぶ社内人材育成体制を整えました。育成プログラムは乾教授とJPRによる共同開発です。

年間20名の社員が初級レベルのデータサイエンティストとして活躍できるようになる計画で、既に今年度よりプログラムを開始しております。

2. 2018年度上期の成果について

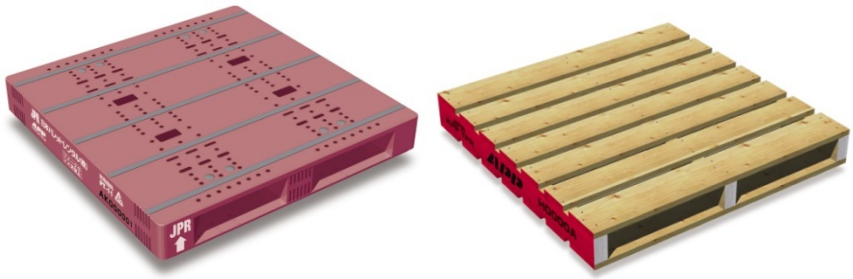
同プログラムにおいて、JPRが所有するデータを活用し、以下のテーマにおける分析が進んでおります。

① デポ（レンタルパレットの貸し出し・返却拠点）ごとの混雑状況を把握分析し、デポ最適運用の検討
② 過去のレンタルパレット納品枚数データと天候の関連性を分析し、天候による需要動向が把握可能かの検討
③ 曜日時間ごとのパレット返却オーダー集中度を鑑みた、受注する人員の適切配置についての検討
④ RFIDタグ付きパレットをご活用中のお客さまのレンタルパレット個体データを活用した、パレット運用の適正性についての検討

物流ビッグデータを分析・活用した結果は、さらなる物流効率化へのご提案等、広くお客さま、社会へ還元してまいります。

■ 日本パレットレンタル株式会社（JPR）について

JPRは、年間約4200万枚を上る一貫輸送用パレットを供給し、日本全国約70カ所のデポでパレットを供給・回収する体制を整えています。当サービスは、加工食品、日用品業界における物流インフラとも呼べる規模で運用されており、国内で5000以上の拠点で利用されています。



■サイズ
1100mm×1100mm
■保有枚数／年間出荷枚数
約960万枚／約4200万枚
■RFIDタグについて
プラスチック製パレットの約95%（約650万枚）にRFIDタグが装着され個体認識が可能です
（2018年3月末現在）

■ このニュースに関するお問い合わせ先
日本パレットレンタル株式会社 営業企画部 営業企画グループ
Tel：03-6895-5215 ／ Fax：03-6895-5249 ／ Mail：pr@jpr.co.jp ／ URL：https://www.jpr.co.jp